Go Global！高い志、世界へ向けて！

国際交流部よりお知らせ

国際交流部（令和6年11月21日発行）

川越高校の国際交流事業 Global Leadership Program（GLP）

川高 GLP は今年度で11年目を迎える他校にはない、独自のプログラムです。本校の同窓会、後援会、PT 会から支援をいただいた国際交流基金によって、それぞれのプログラムが運営されています。

✦STEP 1: Cultural Enrichment Activity （異文化理解プログラム）

１年次に、LHR の時間を使い、各クラス１人、英語圏以外の国から講師を招いて異文化交流をし、世界に目を向けるきっかけを作ります。今年度は、9月 30 日(月)の LHR と総合的な探究の時間を使って、日本に留学している大学生を本校に招き、「戦争と平和」と「私たちの未来」について、意見交換をしました。

現2年生は9月24日(火)5，6 限に、広島への修学旅行の事前研修として、「戦争と平和」について留学生と考える時間を持ちました。

✦STEP 2: Global Studies Program（通称:エンパワーメントプログラム）（擬似留学体験）

国内に留学している海外の現役の大学生を招き、夏休み 8 月 6 日～9 日の 4 日間、1 日6時間英語による集中講座を開講しました。冬休みにも夏と同様に実施する予定でしたが、最小催行人数の30名に応募者数が満たなかったため、別の無料のプログラムを実施します。

※詳しくは裏面を見てください。➡

✦STEP 3: Future Leaders Program （次世代リーダー養成プログラム）

対象:1、2年生　英語圏の国に8日間、短期研修に行きます。リーダーとして必要な決断力や論理力を磨き、高い目標へチャレンジする意欲を養うことを目的としています。今年度はオーストラリアのクイーンズランド州の州都ブリスベンで、ホームステイをしながら、クイーンズランド大学やスタートアップ関連施設を訪問したり、ゲストスピーカーによるリーダーシップ講演を聴いたり、密度の濃い留学体験をします。研修のポイント、参加費用、今後の日程など、詳しいことは説明会でお話しします。

オンライン説明会:12月3日(火)19:00～

研修にするしないにかかわらず、説明会に参加を希望する生徒は、前日までに1年生は工藤・2年生は瀧嶋まで募集要項を取りに来てください。なお、エンパワに参加していなくても、海外研修に参加することはできます。

	日付	都市名	交通機関	時間	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	3/22 土	成田空港 成田空港発	JQ026	17:30 20:10	所定の場所に集合 ケアンズへ向かいます （機内泊）	―	―	機内
2	3/23 日	ケアンズ空港着 ケアンズ空港発 ブリスベン空港着 研修地着	JQ931 専用車	04:30 09:00 12:00 午後	到着後、乗り換え 空路 ブリスベンへ 到着後、研修地へ ホームステイ地域へ移動、ホストファミリーと対面 （ホームステイ）	機内	各自	○
3	3/24 月	研修地		午前 午後	英語クラス（グローバルリーダーに求められるパブリックスピーキング）※以下、同様。 クイーンズランド大学 キャンパスツアー （大学生と交流） （ホームステイ）	○	○	○
4	3/25 火	研修地		午前 午後	英語クラス クイーンズランド大学の研究室訪問 （ホームステイ）	○	○	○
5	3/26 水	研修地		午前 午後	英語クラス 大学での模擬授業、学生と交流 （ホームステイ）	○	○	○
6	3/27 木	研修地		午前 午後	英語クラス 大学スタッフによる講演（リーダーシップ） 学生と交流 （ホームステイ）	○	○	○
7	3/28 金	研修地		午前 午後	最終発表コンテスト、修了式 スタートアップ機関訪問 （ホームステイ）	○	○	○
8	3/29 土	研修地		終日	学生とブリスベン市内訪問 （ホームステイ）	○	○	○
9	3/30 日	研修地 ブリスベン空港発 成田空港着	専用車 JQ009	午前 09:30 17:40	ブリスベン空港へ向かいます 空路 成田へ向かいます 到着後、解散	○	機内	―

☆現地受け入れ団体…Blue Sky Education, ISA-Australia
☆予定航空会社…ジェットスター航空（JQ）
☆この日程表は2024年10月24日現在のものです。現地事情や航空会社の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございます。
☆食事条件用語の説明…機内：機内食　○：手配あり　各自：各自にて　－：提供なし
☆時間帯の目安…早朝：04:00－06:00　午前：06:00－12:00　午後：12:00-18:00　夜：18:00-23:00　深夜：23:00－04:00

Winter English Challenge 2024 のお知らせ

冬のエンパワに代わるプログラムとして、参加費無料の学校独自の英語集中研修を下記のとおり実施します。

募集生徒数　30 名程度（対象1, 2年生）

日時　2025 年 1 月 6 日(月) 7 日(火)　10:00-15:00

内容　英語による擬似留学体験
（ディベートを中心に、異文化理解活動などを行う。）

形態　5、6人のグループに分かれて活動。元川高 ALT の Derek を進行役に、首都圏の大学で勉強している留学生を招き、英語の活動を行う。

場所　川越高校図書館棟2階　セミナー室

費用　無料

募集期間　11 月22日(金)～29日(金)　※1年生は工藤、2年生は瀧嶋に下の申込書を提出

応募資格　英語力は問わない。二日間とも確実に出席できる生徒に限る。過去にエンパワーメントプログラムに参加したことのある生徒でも、参加可能。応募人数が 30 名を大きく超えた場合は、抽選を行う。

Winter English Challenge 2024 申込書

1 月6日(月)、7日(火)に実施される Winter English Challenge 2024 に参加を希望します。

令和6年 11 月　　日

年　　組　　番　生徒氏名

保護者氏名　　印

Curriculum（昨年度の例）

	10:00-11:00	11:10-12:10	12:10-13:00	13:00-13:50	14:00-15:00
January 6th	・Ice-breaker Activities ・Interview & Report ① ・Debate ①	Debate ②	・Lunch Break ・Field Trip in Kawagoe		・Debate ③ ・Reflection
January 7th	Interview & Report ②	Debate ④	Lunch Break	・**Debate Match** ・Reflection	

なぜ、今、ディベートをやる必要があるのか？

様々な価値観が存在する社会の中で、ひとつのテーマに関して物事を多角的に見て、議論し、最終的に自分なりの意見をしっかりと持ち、相手に伝えることはたいへん重要です。ディベートの過程で、相手をリスペクトし、異なる意見に耳を傾け、学び合い、正解のない問題に対して果敢にチャレンジする姿勢を養います。ディベートの技術は、英検の二次面接や、大学入試の自由英作文にも有効です。

昨年度参加した生徒の声

・積極的に話しかけること、頭の中で簡単な単語に置き換えること、相手の意見にレスポンスすることの 3 つが重要であることを学んだ。特に 3 つ目のレスポンスに関しては、自分が最も成長した点になった。また英語を使ってコミュニケーションする機会が今までなかったが、この challenge のおかげで英語を学ぶ楽しさを改めて実感した。

・英語に苦手意識があったが、自分の持つ語彙をフル活用して、相手に伝えたいと思う一心でコミュニケーションをとることで相手に伝えることができることを学べた。他の人の会話を聞き、自分に欠けている表現力を身につけることができたし、何よりも自分から話しかけて伝えようと思う積極性や、自分の英語に対する自信を得ることができた。

・普段は書いてある文章を読み上げるのがほとんどだか今回のプログラムを通して、アドリブで英文を考える難しさを理解し、自分のレベルを知れた。また、会話をする上で大切な事はいかに正しい英語かではなく、伝えようとする姿勢なのだと思った。

↑留学生の模擬ディベート